

市政に対する

一般質問

今定例会では、14人の議員が9月2日、3日、4日に一般質問を行いました。質問の中から、主なものの要旨を質問者順に掲載します。

一般質問とは、議案と関係なく市の行政事務の状況や将来に対する方針などをたずぬるもので、市側は、質問に対し基本的な考え方や問題解決策について答弁します。

小林啓子議員

- セカンドブックスタート事業について
- 「軽度認知障害スクリーニングテスト」について
- デマンド交通システムについて
- 有料広告募集について

松本章議員

- 「空き家」への対応について
- デマンド交通実現に向けて
- 駅橋上化・区画整理事業について
- 子育て日本一をめざす教育について

本田謡子議員

- 市営住宅の環境整備について
- 千塚西公園の管理について
- 青少年育成市民会議について
- AEDの設置場所について

小林英雄議員

- ごみ収集について
- 指定管理者制度について

藤沼貢議員

- 住環境の整備について

松田雅代議員

- 2014年度普通交付税の交付算定と幸手市の財政状況について
- 相次ぐ入札不調への対策について
- 高齢者対策について
- 人口減少問題について

小林順一議員

- 小中学生対象の防災教育について
- 高齢者のボランティア（地域活動）ポイント制度について
- 小中学校の普通教室へのエアコンの設置について

大久保忠三議員

- 平和行政の推進について
- 自治会への加入推進について
- 空き家対策の具現化について

宮杉勝男議員

- 幸手市に於いて想定される自然災害について

小河原浩和議員

- 圏央道幸手インター開通について

小島和夫議員

- 防犯カメラの設置について
- AEDの設置場所について

中村孝子議員

- 財政問題について
- 幸手駅西口地区土地区画整理事業と駅舎整備事業について
- 公共施設の維持・整備・管理計画について

木村治夫議員

- 商店街街路灯（環境整備組合）のLED化について
- デマンド交通システム導入について
- 人口減少対策について

武藤壽男議員

- 駅舎整備（自由通路・駅舎）と西口区画整理事業について
- 駅舎（橋上駅舎）の整備について

- 9月定例会 会期日程**
- 9月1日（本会議）
 - ・ 開会・会期の決定・報告事項
 - ・ 市長提出議案一括上程、提案理由説明
 - 9月2日・3日・4日（本会議）
 - ・ 市政に対する一般質問
 - 9月10日（本会議）
 - ・ 議案に対する質疑
 - ・ 議案の委員会付託
 - 9月11日・12日（委員会）
 - ・ 文教厚生常任委員会
 - 9月16日（委員会）
 - ・ 総務常任委員会
 - 9月18日（委員会）
 - ・ 建設経済常任委員会
 - 9月26日（本会議）
 - ・ 委員長報告、質疑、討論、採決
 - ・ 閉会

9月定例会

傍聴者					
37の方が傍聴されました。					
議会インターネット中継のアクセス件数 インターネットを利用した議会中継（ライブ及び録画）を行っております。					
7月	279件	8月	224件	9月	2676件
の方が視聴されました。					

12月定例会のお知らせ

11月28日開会予定です。
詳しくはホームページをご覧ください。
<http://www.city.satte.lg.jp/>

- それぞれの内容の詳細は会議録及び市議会ホームページ（インターネット映像配信システム）でご覧になれます。
- 会議録は図書館、各公民館の図書コーナー、または市議会ホームページで公開しています。
- 9月定例会の会議録は12月上旬頃公開予定です。

セカンドブックススタート事業は



小林啓子議員

Q セカンドブックススタートとは、小学校へ入学する子どもたちに本を送る事業である。

子育てで日本一の目標を掲げる幸手市にとって、セカンドブックススタート事業は必要な事業の一つと考えるが市長の考えを伺う。

A 私は「子育て日本一のまち」を目指すうえで、教育の充実が大きな課題であると感じています。

特に小・中学生が健やかに成長することが、これからの幸手市に大切なことであり、そのための支援は、今後も充実させていきたいと思う。

提案された「セカンドブックススタート事業」は、子どもたちにとって、とてもよい取り組みだと感じたので、十分に検討し

て前向きに取り組んでいきたい。

(市長)



駅橋上化・区画整理事業はどう進む



松本章議員

Q 議会前の議員全員協議会、また8月29日の新聞報道もあったが駅橋上化・区画整理事業について伺う。

(1)現状の進捗状況・今後の見通しについて伺う。(自由通路の拡幅理由・一階階段下の「幸手市施設」の整備内容、区画整理事業の反対者への対応について)
(2)各々の、着工時期・完了時期

について伺う。
(3)旧3番線用地の整備内容について伺う。

A (1)について 橋上駅舎及び自由通路は、鉄道側と設計協議中。自由通路の幅員は災害時の一時退避場所を確保しつつ相互通行を図るため、東側自由通路下は公益施設を想定している。区画整理事業反対者へは今後もご理解を

求める。

(2)について

橋上駅舎および自由通路は平成27年8月着工30年3月完了、区画整理事業は第1期エリアを平成27年度から30年度を目標に整備する。

(3)について 区画整理事業により公園として整備する。



(建設経済部長)

夜間に使えるAEDの設置場所は



本田 謡子議員

Q 平成24年12月議会において、「夜でも使えるコンビニでのAED設置を」と要望したが、その後の経過を伺う。

また、現在、夜間に使用可能なAEDの設置場所および、市としての夜間対策を伺う。

A 市内コンビニ18店舗に設置への協力確認を行った

が、コンビニ本部の方針や設置費用の問題、従業員への教育等が難しい理由等から、現在までに設置されていない状況にある。

夜間対策としては、未設置施設や集合住宅等を中心に設置促進を図るとともに、夜遅くまで開館している施設や24時間利用可能な施設においては利用時間等を地域住民に周知できるように努めていきたい。また、コンビニ設置については24時間365日利用可能な身近な施設として

有効と考えているので引き続き検討していきたい。

(健康福祉部長)



古紙の持ち去り防止対策は



小林 英雄議員

Q 新聞・雑誌などの古紙の持ち去りには、他の自治体も大変苦慮している状況である。市民の方から古紙の持ち去りについて相談を受け、対策として持ち出し厳禁チラシを作ることを提案した。環境課で対応して、平成26年1月号の広報さてに、4枚綴のチラシを折り込み全戸配布された。8か月が

経過したが、配布後の効果について伺う。

A 配布後の効果は、平成26年の1月と、前年の平成25年1月の回収量と比較すると約17トン多く回収されていることが数量として現れている。

また、市民の皆様からの通報件数は、平成25年度は1年間で7件の通報があったが、平成26年度は現在のところ1件となっている。

さらに「活用した結果、持ち去られなかったため、追加でいただいた「等の声もあつたことから、配布後については一定の効果が得られたと考えている。

持去厳禁

これは、「幸手市」に回収してもらう資源物です。幸手市以外の者が持去ることはできません。

(市民生活部長)

農業環境の変化に市はどう対応するのか



藤沼貢議員

Q 市民生活に密着した住環境の整備と、市街化区域と調整区域での公平で均衡のとれた施策、および事業量等がどのようになっているのか、市長に伺う。

また、農業環境が高齢化に伴い大きく変わってきている。従来の水路管理については農地の耕作者にお願いしてきているが、

幹線水路等については市が管理するよう検討できないか伺う。

A 市街化調整区域における水路等の管理については、地域の担い手が少なく、高齢化もあって、なかなか従来と同様にはいかない現状も承知している。

しかしながら、草刈などの管理については、これからも基本的には地先管理として所有者や耕作者の方をお願いしたいと考

えている。

ただし、どうして

も手が足りない部分や、急斜面など危険な箇所は、地域の状況などを考慮しながら、市が実施していくことも検討をしていきたい。



(建設経済部長)

高齢者対策、今すぐ仕組みづくりに着手を



松田雅代議員

Q 独り暮らしの高齢者から集積所までごみを持参することが難しいという声を聞くことが多くなってきた。市で把握している状況、今後の対策を伺う。

また、香日向地内のスーパーマーケット閉店に伴う住民対策、特に高齢者への対策について伺う。

ごみ収集では他市区町には、清掃局と福祉部門の連携事業などに取り組む先進事例などもあり、今後の仕組みづくりでは、行政のリードが必要と考える。いかがか。

A 独り暮らし高齢者がごみを集積所まで持参することの問題については、ご相談に応じて、介護保険や社会福祉協議会の有償家事援助サービス等を紹介し、対応している。

スーパーマーケット閉店に伴う住民対策についても、外出が困難な高齢者に対しては、ご相談に応じて、民間サービスを含めた様々なサービスを情報提供している。

今後については、行政サービスだけでは限界があるため、将来を見据えた方向性を検討したい。



(健康福祉部長)

小中学校の普通教室へのエアコンの設置を



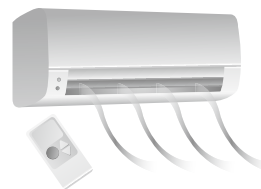
小林順一議員

Q 近年の温暖化により、気温が上昇している状況である、数十年前の環境から大きく変化し、子どもたちが快適に学習するために必要な環境が扇風機などでは対応しきれなくなっている。通学させているご家族、子どもたちからエアコンの設置を要望される声が多く聞かれるようになり、そこで伺う。

全小中学校の普通教室にエアコンを設置する場合の予算を伺う。早期に市内全小中学校の普通教室にエアコンの設置を要望するが所見を伺う。

A 昭和50年から近年の最高気温を見ると気温は上昇傾向にある。

エアコンを設置する場合の予算としては、県内の市の設置例を基に幸手市に当てはめて試算したところ、工事方式では、約



な学校環境を作り
たい。
しかし、多額の
費用がかかるため、
今後導入時期の調
整を行う。

(教育次長)

空き家対策にシルバー人材センターと協定を



大久保忠三議員

Q 空き家等の適正管理に関する条例が可決された。

空き家対策の具体化に向け、シルバー人材センターと協定を結び、空き家対策の推進を図るべきと提案する。シルバー人材センターの入会者は437人、「私たちが適正管理を推進している」。これは入会者の生きがい対策にもつながる。また、空き家所有

者等も安心して依頼できる。
空き家等の近所に住む方たちのためにも早急に対応すべきである。

A 空き家等については、所有者等の高齢化や経済的な事情などにより、今後さら

に増えていくと推測している。
空き家は、所有者が責任を持って管理すべきものだが、所有者が遠方に住んでいて管理できなかったり、修繕・除草なども

個人では難しいとの理由で放置されている場合もある。
すでにシルバー人材センターと協定を締結している自治体があるので、それらを参考に検討したい。

(市民生活部長)



幸手市において想定される自然災害は



宮杉勝男議員

Q 災害については、「地域において過去の歴史に学ぶことが大事」とされているが、その点を考慮した場合で次の四点を伺う。

- 一、幸手市ではどのような災害を想定しているのか。
- 二、平成24年6月議会で答弁した事に対しての結果について。
- 三、想定に対しての対応シミ

ユレーションについて。
四、ハザードマップ改正の進捗状況について。

A 一、地震・台風・河川決壊による洪水・大雨による市内の浸水・竜巻や突風などが想定される。

- 二、東埼玉総合病院駐車場を避難場所として協定を締結した。消防団員の訓練については研究会等の機会を捉えて行う。その他の災害対策についても、今後

実施できるよう努めたい。

- 三、消防団や区長会・自治会などの各種団体との総合的な訓練や図上訓練等の計画を検討する。

四、今年度改定を行っている幸手市地域防災計画に基づき、来年度中に改定する予定である。
(市民生活部長)



来年3月幸手インター・インター連絡線開通



小河原浩和議員

Q 市民待望の圏央道幸手インターがいよいよ来年3月開通の運びとなった。開通イベント等のスケジュールを伺う。

また、側道部分の幸手インター連絡線も同時に開通するが、それと交差する主要な生活道路が現状と同じように横断できるのか。それとも市道からは左折のみになるのか。開通後の状況

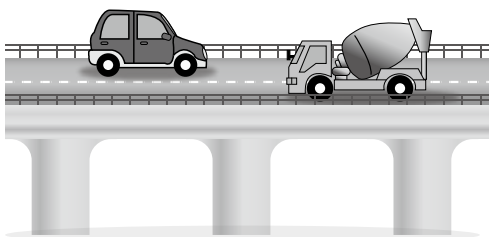
について伺う。

A 圏央道の幸手市区間においても高架橋上部工の工事が進められており、11月頃からは東日本高速道路(株)において道路表面の舗装工事や防音壁の工事が行われる。開通については、幸手、五霞、境古河ICと同時にになるので、3月末頃の予定となっている。

また、開通の2週間前を目安に、開通プレイベントを実施す

る予定である。

幸手インター連絡線と交差する市道のうち、横断ができるのは7路線となっており、その他の市道は左折のみとなる。
(建設経済部長)



市民の生命財産を守るため防犯カメラの設置を



小島和夫議員

Q 幸手市の犯罪や放火・交通事故を減少させるため、

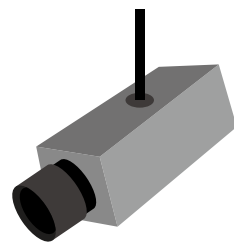
市民の生命・財産を守るため、また、市民が安心安全に暮らすためにも防犯カメラの設置が必要と考えるが、市長の所見を伺う。

A 防犯カメラの設置は、設置箇所の周辺での犯罪発

生をある程度抑止できると思われ、実際に犯罪が発生した場合には、犯人の特定・逮捕にも効果も期待でき、有効であると考えている。

しかし、公衆街頭に設置される防犯カメラは、不特定多数の方が録画されるので、その方々のプライバシーの保護や、肖像権といった問題が生じる。

防犯カメラの設置については、関係機関とも協議し、慎重に調査・研究をしていきたい。(市長)



駅西口開設時の県道幸手久喜線の安全確保は



中村孝子議員

Q 市民の西口地区区画整理事業への期待は、一に自

由通路により駅東西が繋がること、二に幸手久喜線が拡幅され安全になること、三に面整備により良好な住環境が生まれることである。現状のままでの、西口開設時の幸手久喜線の安全確保は。また、区画整理計画の中で幸手久喜線沿線は最後の3期

・4期であり、これを早められないか。当事業は長期事業であり、終了までの住民の不安払拭のため、より細かい事業計画と財政シミュレーションを提示してほしい。

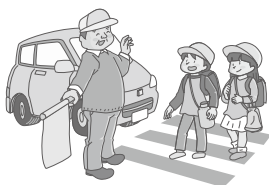
A 県道幸手久喜線については、南3丁目側は区画整理事業で幅員3.5mの歩道整備を行う。また、中5丁目側は埼玉

県において幅員3.5mの歩道の整備が見込まれている。

駅西口開設時点では歩道は未整備の状態であるが駅利用者の交通量は分散され県道の交通量は若干減少するものと想定している。

今後は埼玉県へ歩道整備の早期実現の依頼や区画整理事業の順調な進捗を図りたい。また、必要に応じて事業計画等を提示していきたいと考えている。

(建設経済部長)



デマンド交通システムの実施時期はいつか



木村治夫議員

Q 平成8年1月より現在の市内循環バス運行が開始され18年経過し、使用者はピーク時の半数以下に減っている。

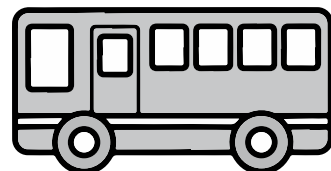
市は平成27年度中に有料予約制のデマンド交通システムを実施するとして、市民2000人にアンケート調査を行った。市の高齢化率は27・7%と急速に進行している。公共交通は交通弱

者の救済、公共施設への市民の足確保、通学移動手段として、多目的に活用され多くの市民に利用されなければならぬ。現在の課題を解決し、いつから実施するのか。

A デマンド交通システムの導入を含めた市内公共交通網の計画策定を行っており、これまでに公共交通に関するアンケートや、市内循環バス利用者へのアンケートを実施した。

これらの集計や市民の交通移動実態などの現状分析を行い、課題解決のための案を作成中である。今後は、庁内審議を経て、11月にパブリックコメントを、12月から幸手地域公共交通会議を開催し、平成27年度中のデマンド交通の運行実施を目標に進めている。

(市民生活部長)



営利企業の東武幸手駅舎は税金で造るべきか



武藤壽男議員

Q 本市は、市民の皆様のご健全化計画を経て、財政状況も改善されてきた。しかし、人口減少、就労人口の減少、景気の不透明の中で依然として厳しい状況にある。

一方、民生費の増高、安心安全のための管理責任のある老朽化した施設や橋りょうの改修、

道路の整備など、課題は山積している。

鉄道運輸事業を主とし、多額の利益を計上し株主に配当をする東武の駅舎を、市が国補助金が未確定のまま、13億円余の税金全額負担で実施すべきことなのか。

A 駅舎整備は西口土地区画整理事業、自由通路と併せて公共性公益性の高い事業である。東武鉄道へ整備依頼をし

たが予定がないことから市による整備を求められている。この事業については国の補助金を活用しながら本市が整備をするが、他の市町村の事例を見ても同様に整備しており、やむを得ないものと考えている。

また、司法の場である裁判では自治体が様々な考慮のもと政策的に公益上必要との判断により整備費を負担することに違法性はないとしている。

(建設経済部長)